

富谷小だより

渋谷区立

富谷小

学校通信

自ら学び、考えを表現するとは

副校長 高橋 克典

先日は保護者会、学校公開に来校いただきありがとうございました。

4月に入学した1年生も元気に登校する姿が見られ、富谷小学校の一員として馴染んできた感じがします。

さて、今年度の富谷小学校の重点教育目標は「自ら学び、考えを表現する子」になっています。

「自ら学び、考えを表現する」ためには、「自分の考えをもち」「表現の方法を考える」ことが必要だと、個人的に感じています。例えば、算数の計算で、

$$\textcircled{1} \quad 2 \times 3 + 26 = 32$$

$$\textcircled{2} \quad 2 \times 3 + 26 = 6 + 26 \\ = 32$$

この2つの書き方には違いがあって、①は暗算で計算したことが分かる書き方であり、②はどこから計算したのか、過程が明確になった書き方です。この2つを比較すると、②の書き方が相手に伝わりやすい書き方(表現)と言えます。しかし、②のような書き方をする子供はなかなかいません。

算数の計算を例にしましたが、「自分の考えを相手にどのように伝えるか」「そのためにはどのような方法があるのか」という2つの要素を考えることが必要であり、今年度の教育目標につながってきます。国語にしる、算数にしる、教科の学習だけでなく、日常生活の中でも今後必要なことだと考えます。これは対話的に学習を進めるためにも必要です。

子供たちは普段の授業の中で、先生だけで

なく、友達とも対話しながら学習しています。自分の考えの伝え方を考える際には相手意識も必要です。「1年生には難しい言葉を使わずに、簡単に説明しよう。」「絵も付けると分かりやすいかも。」「そのためには画用紙も必要だ。」「いや、タブレットも使いたい!」高学年の子供たちは柔軟な発想で表現方法を考えます。もしかしたら、「自分の考えを表現する」ということは、なかなか難しいことなのかもしれません。

5月の末にはスポーツフェスティバルが行われます。子供たちは体全体を使って演技をします。これも1つの表現の方法です。

子供たちがスポーツフェスティバルにどのような気持ちで取り組むのか、何を表現したいのか、教員たちもサポートしてまいります。保護者の皆様には児童の健康管理や持ち物にご協力いただくことになるとは思いますが、実行委員会が中心に考え、考えを表現するスポーツフェスティバルです。ご協力よろしくお願ひします。

自転車での来校について

自転車での来校は行事の時を含めて禁止しております。正門前の公園(上原児童遊園)や富谷図書館等への駐輪は付近にお住いの方へのご迷惑にもなりますのでお止めください。

やむをえず自転車で来校した際は代々木八幡ガード下の駐輪場等を使用するようにしてください。

ご協力をお願いします。

「子供×大人の対話」を行って

4月初めに行った「子供×大人の対話」にたくさん保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

子供たちからは、「最初にゲームをしたので緊張がほぐれて話しやすくなった」、「自分と違う考えを聞いてよかった」、「家の人たちの考えが聞いてよかった」、「こういうクラスにしていきたいという気持ちは、自分たちも家の人たちも似ていた」という振返りが多くありました。また、「時間が短くてあまり考えを深められなかった」という次回の計画につながる振返りもありました。

参加した保護者の方々からも、「学級の様子や子供たちの様子が具体的に分かり、安心につながった」、「保護者も傍観者ではなく当事者として参加でき、有意義であった」というような感想を多数寄せていただきました。また、時間配分や途中参加の方への配慮、学年に応じたテーマ設定や事前予告など、運営面へのご意見もいただきました。次回の計画に生かしていきたいと思ひます。

今回の対話が、学級・学校と保護者の皆さんの相互理解とつながりを生むきっかけになっていたらうれしいです。